

第8回岡山県こども備前焼作品展を開催。出品数945点 来場者数約2,000人 まちなかこども備前焼作品展を実施

岡山県こども備前焼作品展実行委員会

活動の目的

備前焼をととして次世代を担うこどもが豊かな感性や創造性を養う

活動の内容及び経過

4月に六古窯として日本遺産に認定されました「備前焼」について、日本の伝統工芸品として広くこどもたちに伝統文化の継承をはかるため、6月に市広報紙、ホームページに29年度の募集要項を掲載した。また、市内の幼稚園・小学校・中学校は、校舎長会の会議及び図工・美術担当教諭の研修会に出席し、作品展の案内・参加依頼を実施した。また、高等学校及び前年度出品校園は手紙等により出品の案内・参加依頼を実施した。8月1日（火）から9月8日（金）出品申込みの受付を実施。

9月26日（火）リフレセンターびげんで、岡山県備前焼陶友会の備前焼作家による審査員と備前市指定無形文化財「備前焼の製作技術」保持者等の備前焼作家からなる特別審査員により審査会を実施し、945点の作品の中から、172点の受賞作品を選定した。

10月14日（土）備前焼まつりに合わせ、特別賞、優秀賞受賞者（37名）を対象とした表彰式を備前焼ミュージアム前特設ステージで開催した。また、同日と翌15日（日）リフレセンターびげんで、特別賞受賞作品を除く作品の展示をした。さらに、特別賞受賞作品（30点）は10月2日（月）から10月31日（火）まで、伊部駅周辺備前焼ギャラリー11か所で展示した。

活動の成果・効果

市内の全ての幼稚園から高校、市外の前年度出品校園への広報活動により、945点と多数の応募があり、市内と市外の出品校のこどもたちには備前焼及びその制作について普及してきていると考える。

作品展示については、備前焼まつりに合わせて展示したことと、特別賞の備前焼ギャラリーでの展示により約2,000人の来場があり、多くの人に備前焼及び当作品展の周知が出来たと考える。

今後の課題と問題点

市内のこどもたちは、各校の協力によりほぼ備前焼の制作を学校で体験できるため、今後も各校と協力して継続していく。

また、高校生の部については、パフォーマンスの高い作品を制作するための条件（作品の重量、規格）を見直し、より制作意欲が湧くよう規定を変更したが、小中学生の部門



に比べて応募数がかなり少ない。新設されて間が無い部門ということが一因かもしれないが、広く県内の高校生に周知する必要がある。

- 代表者：金重有邦 ●所在地：備前市東片上
- TEL：0869-64-1837 ●E-MAIL：bzbunka@city.bizen.lg.jp
- URL：http://www.city.bizen.okayama.jp/busyo/shiminseikatu/bzbunsupo/bunkashinko/syogai.html
- 設立年：2011年 ●メンバー数：15名